

令和2年第2回雲仙市議会定例会

市長報告 (開会)

令和2年6月11日

雲仙市長 金澤 秀三郎

【 新型コロナウイルス感染症にかかる支援等について 】

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染拡大防止のため、市民の皆様のご協力とご理解をいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症にかかる支援といたしまして、市民の皆様の命を守るため、感染予防対策や各種経済支援策に取り組んでおりますが、生活に対する不安、経済の悪化などにより、市民や事業者の皆様から切実なお声をいただいているところです。

今後も市としての支援策の対応及び情報発信に努め、一日も早く、皆様の平穏な日常が取り戻せるよう努力してまいります。

緊急経済対策としての特別定額給付金につきましては、迅速かつ的確な給付を行うため、4月27日に、地域振興部地域づくり推進課内に「特別定額給付金対策班」を創設し、人事異動により職員3名を配置いたしました。

申請につきましては、5月3日からオンライン申請の受付を開始し、また、郵送申請におきましては、5月11日に申

請書を郵送いたしました。

申請書の受付状況につきましては、6月10日時点におきまして、郵送申請16,533世帯、オンライン申請174世帯の合計16,707世帯で全体の96.1%の受付をしております。

全世帯の17,379世帯に対する給付状況は、同じく6月10日時点で合計16,338世帯の94.0%となりますが、15日には95.9%の給付となる予定でございます。

なお、簡易書留郵便により郵送いたしました申請書のうち、宛所不明により49通、本人不在により109通の、合計158通が5月29日に市役所へ返却されております。

この返却された申請書につきましては、市役所へ連絡をお願いする旨の通知を普通郵便にて送付しており、昨日までに、93件の連絡がとれております。

残りの65件につきましては、自治会長様や民生委員様に所在を確認するほか、ご近所の方にお尋ねするなど、いろいろな方法により申請書をお届けしたいと考えております。

今後も、市民の皆様へ、一日でも早く給付できるように努めてまいります。

また、感染症により影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金につきましては、6月10日に対象児童1人当たり1万円を、5,012人分、支給いたしました。

感染症予防対策につきましては、多くの事業所や市民の皆様から、マスク等を寄贈いただき、厚くお礼申し上げます。

寄贈いただきましたマスク等につきましては、医療現場をはじめ、高齢者や妊婦の皆様へ配布するなど、感染症予防対策として活用させていただいております。

また、6月5日、本市出身でV・ファーレン長崎の徳永悠平選手より、新型コロナウイルス禍における自治体への経済的支援として、寄付金300万円をいただきました。

寄付金につきましては、感染症対策のため有効に使わせていただきますとともに、V・ファーレン長崎のJ1昇格と徳永選手の今後のご活躍を期待しております。

市内産業の経済的損失の緊急措置に対する各支援策といたしましては、市内飲食店及び各店舗で利用できる商品券を、

5月15日から市内の全世帯へ配布いたしました。

雲仙市事業継続支援金につきましては、5月25日から市内の中小・小規模事業者への申請受付を開始したところですが、6月10日時点で281件の申請があっており、給付済額の合計は1,305万円となっております。

また、農林水産業関係の各事業者につきましても、6月1日から同支援金の申請受付を開始いたしました。

観光業への支援といたしましては、市民の市内宿泊料金の半額を補助する雲仙市緊急宿泊促進支援事業を、5月15日から開始いたしました。

市といたしましては、市民の皆様に各制度を有効にご活用いただき、ふるさとの良さを見つめなおす機会として、賑わいと活気ある街を取り戻していきたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

市外への発信として、都市部で青果店を運営する旬八青果店と連携し、市の特産品を詰め合わせた「雲仙よかもん小さな旅セット」等の開発を行っていただきました。

通信販売サイトでの販売となり、収束後の雲仙市への観光誘客も含め、PRをしていただいております。

また、JR九州が早期収束を心から願い、立ち上げた「その日まで、ともにがんばろう」プロジェクトに賛同し、観光や物産に携わる方々が発信したメッセージを、雲仙市版として動画にまとめ、SNS等で公開しております。

多くの皆様にご視聴いただき、雲仙市の思いが広がりますよう期待しております。

なお、雲仙市体育協会の主催により、例年8月に開催しております「雲仙市民スポーツ大会」につきましては、感染症拡大防止と選手や応援の皆様のご健康・安全を考慮した結果、本年度は中止することが決定されております。

続きまして、雲仙市出身者のご活躍につきまして、報告いたします。

【「雲仙ふるさと大使」について】

5月10日、雲仙ふるさと大使で男子プロバスケットボー

ルリーグ Bリーグの「アルバルク東京」に所属する田中大貴選手が、2019-20レギュラーシーズンにおきまして、最優秀選手賞を初受賞され、4年連続4度目のベストファイブを受賞されました。

田中選手のご活躍は雲仙市といたしましても、大変誇らしく、来年に延期された東京オリンピックでは、日本代表に選出され、日本中に感動を与えられるようなご活躍を期待しております。

続きまして、主な市政の取り組み等を、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき、報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

地域防災体制強化につきましては、3月25日、雲仙市社会福祉協議会と「災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」を、同日、株式会社ひまわりてれび様と「災害時における放送要請に関する協定」を締結いたしました。

今回の2つの協定締結により、相互の協力体制や役割分担等の連携を強化し、災害時における復旧作業支援や市からの

情報発信等の災害対応が更に強化されるものと期待しております。

6月2日には、梅雨の集中豪雨などで洪水が発生しやすい時期を前に、市内2箇所の危険箇所につきまして、点検を実施いたしました。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

水産業につきましては、諫早湾沿岸の3漁協により「諫早湾漁業協同組合」が4月1日から合併し、運営を開始されました。

雲仙市の旧国見漁業協同組合、旧瑞穂漁業協同組合は、今回の合併により、それぞれ国見支所、瑞穂支所として経営基盤を強化し、諫早湾の水産業の発展に寄与される取り組みを、引き続き促進されております。

市といたしましては、今後も「諫早湾漁業協同組合」の運営が円滑に行われるよう、皆様と力を合わせて取り組んでまいりますとともに、雲仙市の産業振興を支える組織となられることを期待しております。

昨年5月に「雲仙市物産振興に関する基本協定」を締結した、東京、京都、福岡でセレクトショップを展開する「株式会社アンドローカルズ」と「雲仙市」のコラボイベントを、5月26日から6月6日の期間で福岡の店舗を活用させていただき、開催いたしました。

雲仙市の特産品を都市部の消費者の方に直接PRする絶好の機会であるため、その結果を検証し、今後の雲仙市の物産振興に繋げてまいりたいと考えております。

【基本方針3「社会基盤と環境」の分野について】

道路整備につきましては、地域高規格道路「島原道路」におきまして、早期事業化を要望しておりました島原市有明町から瑞穂町までの10.4km区間の新規事業化が決定いたしました。今後におきましても、全区間の早期完成に向けた要望活動を行うとともに、一般国道57号の機能強化に向けた取り組みも併せて進めてまいります。

令和2年度の国土交通省道路局関係予算につきましては、島原道路で新たに事業化されました有明瑞穂バイパスや、瑞穂吾妻バイパス、国道57号富津視距改良など、本市が関係する事業に対し、継続的な予算配分がなされております。

事業の推進にご尽力いただきました、松尾議長をはじめとする議員各位並びに関係者の皆様に対し、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

今後も、市内の交通環境整備促進に向けた様々な取り組みを展開してまいります。